

【管理運営状況公表様式】

平成22年度 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども
家庭支援センター（アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	アスタグループ 代表者である構成員 株式会社 阿部重組 芝管工 株式会社 株式会社 テレコム青森（H23.5より「青森コミュニティビジネス株式会社」に社名変更）
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
相談事業	女性問題解決の視点から、女性が直面している問題を受け止め、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環として「DV被害者支援セミナー」を実施した。
オープンカレッジ	広く県民に男女共同参画の意義をわかりやすい内容で普及啓発するために、市町村との共催により、アピオあおもりを含め県内市町村で開催した。内容は、各市町村の現状・ニーズと合ったものとした。
情報誌発行事業	男女共同参画の視点に立った情報誌を発行した。地域バランスを考慮した誌面構成とし、編集には県内各地区から地域性も考慮してスタッフを募集するなど、県民参画型の情報誌とした。
情報事業	情報ライブラリーは、女性情報を収集、蓄積、提供する図書館であり、男女共同参画社会づくりのリソースセンターの役割を果たした。 また、ホームページを随時更新し、最新の情報を提供した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進のために、子育て支援に関する啓発情報誌を発行した。
活動支援事業	地域における総合的な子育て支援の推進を図るため、県内の地域子育て支援センター職員等を対象に子育て支援の基盤づくり・連携の強化に重点を置いた研修、実技向上のための講習会を開催した。また、子育て団体の学習会等に講師を派遣し、団体活動の活性化につなげた。
総合相談事業	子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、解決に向けた支援を行った。
学習・体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、子育てに生かせるよう、様々な学習・体験活動を開催し、親子のスキンシップを図った。

業務区分	概要
普及啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、交流とネットワークづくりを推進した。
調査研究事業	県内の子育てサークルや子育て支援団体の所在や活動状況を調査し、リストを作成・配布した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター、青森県子ども家庭支援センター共通

利用指標	年度	計画	実績	計画対比(%)	前年度対比(%)
貸館利用者数 (人)	H 2 0	85,000	84,324	99.2%	119.0%
	H 2 1	85,000	79,414	93.4%	94.2%
	H 2 2	85,000	76,678	90.2%	96.6%
	H 2 3	85,000			
施設使用料収入 (円)	H 2 0	6,570,000	6,298,725	95.9%	94.8%
	H 2 1	6,570,000	6,296,590	95.8%	100.0%
	H 2 2	6,570,000	6,196,655	94.3%	98.4%
	H 2 3	6,570,000			

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比(%)	前年度対比(%)
情報ライブラリー 貸出件数 (件)	H 2 0	12,000	11,785	98.2%	104.0%
	H 2 1	13,000	13,171	101.3%	111.8%
	H 2 2	14,000	13,646	97.5%	103.6%
	H 2 3	14,000			
オープンカレッジ 参加者数 (人)	H 2 0	1,000	1,898	189.8%	190.2%
	H 2 1	募集定員の 95% (665 人)	730	109.8%	—
	H 2 2	募集定員の 100% (560 人)	728	130.0%	99.7%
	H 2 3	募集定員の 100%			
情報誌読者アンケート満足度 (H20 まで情報誌発行数 (部))	H 2 0	7,000	7,000	100.0%	100.0%
	H 2 1	5段階評価の 4	3.7	92.5%	—
	H 2 2	5段階評価の 4	4.0	100.0%	108.1%
	H 2 3	5段階評価の 4.1			

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比(%)	前年度対比(%)
情報誌活用度 (H20 まで情報誌発行数 (部))	H 2 0	12,000	12,000	100.0%	100.0%
	H 2 1	活かせる・ためになった 90%	活かせる・ためになった 99.5%	110.6%	—
	H 2 2	活かせる・ためになった 95%	活かせる・ためになった 93.5%	98.4%	94.0%
	H 2 3	5段階評価の 4.0			

手作りおもちゃ講習会参加者 (人)	H 2 0	90	91	101.1%	130.0%
	H 2 1	100	107	107.0%	117.6%
	H 2 2	150	155	103.3%	144.9%
	H 2 3	150			
親子すくすくスキ ンシップ参加者 (人)	H 2 0	740	485	65.5%	72.5%
	H 2 1	募集定員の95% (1,315.8人)	1,323 親子向け1,245 指導者向け78	100.5%	—
	H 2 2	親子向け 募集定 員の98%(647人)	親子向け 646人	99.8%	51.9%
		指導者向け 募集 定員の95%(133 人)	指導者向け 136人	102.3%	174.4%
H 2 3	親子向け 募集定 員の100% 指導者向け 募集 定員の100%				
子育て広場参加者 (人)	H 2 0	230	1,500	652.2%	510.2%
	H 2 1	ホームスタート事業第3回 講座定員の 50% (10人)	12	120.0%	—
	H 2 2	300	306	102.0%	—
	H 2 3	230			

【増減理由】

・貸館利用者数・施設使用料収入の減少について

貸館案内のホームページの新設によって、施設の利用件数は増加しましたが、1件当たりの利用者数が減少したことにより、平成22年度の利用者数は前年度の96.6%と減少しました。

また施設使用料収入は前年度の98.4%となっており、3月における使用料徴収状況が落ち込んでいることから、震災の影響があったものと考えられます。

・情報ライブラリー貸出件数・情報誌読者アンケート満足度について

研修等受講生を対象としたライブラリーツアー、出前図書貸出の実施により貸出件数は増加しています。

また、情報誌のテーマと構成について、男女共同参画を自身の身近な課題と重ねて考えられるものにしたことにより、読者の満足度が平成21年度の3.7から平成22年度の4.0に向上しています。

・手作りおもちゃ講習会

青森市、八戸市、むつ市の3会場で実施し、目標参加人数は上回ったが、開催地によって参加人数にばらつきがみられました。

・子育て広場参加者

平成22年度は、青森県総合社会教育センターとの共催事業にするとともに、知名度の高い講師による講演会を開催したことにより、成果目標を達成することができました。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	職員のマナー向上を目的に、実際の事例に基づく研修会を実施し、「ご意見箱」の設置により利用者の意見・苦情把握に努めた。青森市内からの利用者についても FAX による利用申込みを可能とするなど、サービスの維持・向上に向けた取組みが適切になされている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	施設利用、相談、情報ライブラリーの各分野のリーフレットを統合し、一体的なものとして作成した。また、ホームページについて貸館案内を設け、利用までの流れや空室情報を掲載するなど、貸館の利用促進や事業への参加促進に向けた取組みが適切になされている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	建物・設備の管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとることによって、利用者が快適に施設を利用できるような状態が確保されている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	緊急連絡系統図の周知の徹底を図るとともに、消防訓練等を実施した。その際、普通救命講習会を開催するなど、緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	管理業務及び両センターの事業は事業計画書に基づき実施されている。また、光熱水費等の無駄の削減等、経費節減に努めており、指定管理料が適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	A	一部達成できなかった指標項目があるが成果目標は概ね達成されている。また、当初の目標を上回る指標項目があるなど、成果目標達成のための努力が行われ成果が上がっている。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	個人情報保護に関する研修の実施、情報公開実施要綱の制定など、個人情報の保護に対する体制の構築・取組みが適切に行われている。
総合評価	A	A	サービスの維持・向上、利用促進に向けた取組みが行われ、施設等の維持管理及び修繕が適切に行われている。管理業務について適切に実施されており、優れた実績をあげている。

○評価基準

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要